

No. 160

令和2年5月12日

【発行】

豊橋市立青陵中学校 校長室

t-asai-hideo@toyohashi.ed.jp

Rising Sun



学校再開に向けて。



新型コロナウイルス感染症が爆発的に拡大し、ロックダウン(都市封鎖)の措置が講じられていた欧米諸国の規制が、徐々にではありますが緩和されつつあることが報道されています。

日本においても、緊急事態宣言が発出される直前の4月当初と比べ、状況は明らかに快方に向かっているように思われます。「出口戦略」が取り沙汰されるようになり、新たなフェーズに入っていることが私たちにも伝わってきます。

そんななか、5月4日政府の専門家会議は、新たな感染者の数が限定的となった地域では再び感染が拡大しないよう長丁場に備えて「新しい生活様式」に切り替える必要があるとして具体的な実践例を示しました。

新聞やニュース番組等で一度は目にしていることとは思いますが、おさらいをしておきます。

専門家会議「新しい生活様式」の実践例

買い物



- ・通販も利用する
- ・1人または少人数で空いた時間に
- ・電子決済を利用する
- ・計画を立てて素早く
- ・展示品への接触は控えめに
- ・レジに並ぶときは、前後をあける

娯楽、スポーツ等



- ・公園は空いた時間、場所を選ぶ
- ・筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ・ジョギングは少人数で
- ・すれ違うときは距離をとる
- ・予約制を利用してゆったりと
- ・狭い部屋での長居は避ける
- ・歌や応援は距離をとるかオンラインで

食事



- ・持ち帰りやデリバリーも利用する
- ・屋外空間で気持ちよく
- ・大皿は避けて、料理は個々に
- ・対面ではなく横並びで座る
- ・おしゃべりは控えめに
- ・お酌や回し飲みは避ける

公共交通機関の利用



- ・会話は控えめに
- ・混んでいる時間帯は避ける
- ・徒歩や自転車も併用する

冠婚葬祭や親族行事



- ・多人数での会食は避ける
- ・風邪の症状があるなら参加しない

感染防止の三つの基本を①身体的距離(ソーシャルディスタンス)の確保②マスクの着用③手洗いとしたうえで、さまざまな生活場面での具体的留意点をあげています。新型コロナウイルス感染症の拡大前の生活と比べ、ずいぶん制約があるように思われます。時と場合によっては提言どおりの様式に従うことができないことも予想されますが、できるだけの手は尽くすようにしなければならないと思います(詳細は厚生労働省の HP https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html を参照してください)。

一部報道で、愛知県を含む 13 の特定警戒都道府県以外の 34 県は、今週末にも一斉に緊急事態宣言が解除される見通しであることが報じられました。感染者が少ない県では、すでに学校が再開されたというニュースも報じられています。

緊急事態宣言が全国に拡大されたことを受けて愛知県では、学校の臨時休校を5月31日まで延長することを発表しました。4月24日のことです。それから2週間あまり。現段階では6月1日から学校を再開することができそうです。来週21日から月末までは、「学校再開準備期間」として位置づけられています。具体的な準備(何をどのように、どんな順番で等)の詳細については、後日改めてお知らせしますが、以下のことを念頭においておくようにしてください。

- ・学校において感染リスクをゼロにするという前提に立つ限り、学校に子供が通うことは困難であり、このような状態が長期間続けば、子供の学びの保障や心身の健康などに関して深刻な問題が生じる。
- ・社会全体が、長期間にわたりこの新たなウィルスとともに生きていかなければならないという認識に立ち、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ段階的に実施可能な教育活動を開始し、その評価をしながら再開に向けての取り組みを進めていくという考えが重要である。